



平成 30 年 7 月 13 日

各 位

前 澤 工 業 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 松 原 正  
(コード番号6489 東証第1部)  
問 い 合 せ 先  
上 席 執 行 役 員 経 営 企 画 室 長 神 田 礼 司  
048-251-5511

## 中期 3 ヶ年経営計画(2018 年度～2020 年度)策定に関して

当社グループは、2020 年度(2021 年 5 月期)を最終年度とする中期3ヵ年経営計画(2018 年度～2020 年度)を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 中期3ヵ年経営計画策定の背景

当社グループは、企業理念である「水とともに躍進し 人間らしさを求め 社会に貢献できる魅力ある企業」の実現をめざし事業を展開しております。前中期3ヵ年経営計画(2015 年度～2017 年度)においては、成長企業への更なる転換を図るための「事業の拡大と収益力向上」と、最も顧客に信頼される企業をめざすための「品質向上とコストパフォーマンスの追求」を2本の柱として、持続的に発展し社会に貢献し続けられる企業をめざし活動してまいりました。

その結果、メンテナンス事業においては、売上高、営業利益とも目標を達成することができましたが、環境事業やバルブ事業においては、いくつかの施策において一定の成果を上げられたものの、依然課題を残す結果となりました。

当社グループの主要事業である上下水道事業においては、少子高齢化に伴う人口減少による収入不足、技術者不足や高度成長期に整備された施設・設備の老朽化対策など多くの課題を抱えております。これらの課題への取り組みに加え、地震などの自然災害に対する防災・減災、エネルギー問題への対応など、当社グループが果たすべき役割は一層高まっていくものと思われまます。

こうした状況の中、当社グループは前中期経営計画「飛躍への挑戦Ⅱ」の結果および当社グループを取り巻く事業環境を踏まえ 2018 年度から 2020 年度の 3 ヶ年を対象とする中期経営計画「Be a Challenger 2020」を策定いたしました。

## 2. 中期3ヵ年経営計画の概要

### ◇基本方針

10年後の社会、事業環境、顧客ニーズの変化を見据え、持続的な成長をめざすために、「成長事業の確立」、「既存事業の改革」、「経営基盤の強化」の3つの施策に取り組んでまいります。

### ◇スローガン

「Be a Challenger 2020」

#### (1) 経営目標(連結)

単位:百万円

	2018年5月期 実績	2021年5月期 目標
売上高	28,612	31,000
営業利益 (利益率)	1,070 ( 3.7% )	1,600 ( 5.2% )

#### (2) 重点施策

##### ① 成長事業の確立

現有技術・製品による新市場の開拓に加え、イノベーションにより生まれた技術、製品、システム、ビジネスモデルによる事業の拡大をめざします。

- (i) バイオガスプラント技術を核にした農業分野等におけるバイオマス事業
- (ii) 膜ろ過技術、水流制御技術を核にした水関連ビジネスのグローバル展開
- (iii) IoT、AIを活用した技術・製品・ビジネスモデルの開発

##### ② 既存事業の改革

既存事業(環境事業、バルブ事業、メンテナンス事業)において、顧客ニーズを捉えた技術・システムの開発・改良と顧客への提案を行い、受注の確保、拡大を行うとともに、生産性向上による業務の迅速化、原価低減等をめざします。

##### ③ 経営基盤の強化

- (i) 働き方改革の推進
- (ii) リスクマネジメントの充実

以上